

KS KS

かがやき

ひかり福祉会広報 vol. 95

葉月号
2016



特 集

ひかり福祉会 40周年記念式典
- 40年の歩みと未来 -



■連絡先：〒526-0822 滋賀県長浜市鳥羽上町 68-1 ひかり福祉会 法人事務センター (TEL:0749-63-5711)

URL <http://www.hikari-fukushi.net/>

■編集人：社会福祉法人 ひかり福祉会 後援会

2000年12月12日 第三種類郵便承認

毎月(1・2・3・4・5・6・7・8の日)発行

40周年を迎えて

理事長 立岡 晓



■滋賀は長浜の地で一九五（昭和五〇）年春、座敷牢状態に置かれていた重い知的障害の仲間六人を真ん中に、働くことを軸に開所した無認可ひかり園作業所。

充分お日様にもあたれず、言葉ももたなかつた仲間たちが作業所に通い洗濯バサミの組み立て作業を覚えだす頃、目に輝きが出始め、明日が見えるようになるドラマチック

下第一号のひかり福祉会誕生である。しかし、歴史は単純に共同作業所づくり運動は雨後のタケノコのように広まつていった。

通所授産施設、法人認可県

各地はじめ全国各地からの支援。一〇年もの長きにわたる裁判所での審理で遂に競売は取り下げられ、作業所は仲間たちの元に戻ってきた。

■苦しいからこそ明日に夢を！

第一次将来計画一〇カ年を作った仲間たちと関係者。夢を乗せた列車は動き始め、一〇年、二〇年、三〇年と走り続けエンストも脱線もせず、今はなんと第五次から第六次将来計画検討へと進行中。

ひかり福祉会はどこまでも仲間たちの夢と願い実現を運動に託す民主的経営体として、滋賀及び全国

などりくみ・・・発達保障の実践と称され理論化された。

ではない。順風満帆かにみえたひかり福祉会の作業所はなんと、厚生省（当時）も予想だにしなかつた前代未聞の施設強制競売事件に遭遇した。

「作業所がなくなつたらまた一人ぼっちになつてしまふ。どうか皆さん私たちの作業所をなくさないで・・・！」涙ながらに訴える仲間たちの必死の叫びに応え、県下

各地はじめ全国各地からの支援。

■こうした中、法人が最も大切にせねばならない課題、それは福祉を取り巻く情勢への対応とともに内部にあつては四〇年の原点である創立時の熱き思いから学び取ること。マイナスから出発し、壮

絶な施設競売事件を乗り越え、プラス志向への発展。乗り越えてきた実践・経営・運動を科学的に学び取ることが求められている時期だ。（設立五〇年の福井県ハスの実の家では原点回帰といわれる）学び、さらに力量をパワーアップし明日に向かつて前進しよう。

ひかり福祉会五〇年をめざし、明日に夢を！

な力を注いできた。気がつけば法人創立三〇年を超えて、現在は四〇年目の節目である。

今、ひかり福祉会は一〇ヶ所の働く場と八ヶ所のグループホー

ム、地域に埋もれた悩み多き人たちの相談支援センターや居宅支援事業などに責任を持つ大きな事業体の法人となってきた。

ひかり福祉会 40周年を記念式典



去る6月11日（土）、滋賀県立文化産業交流会館（米原市）にて、総勢300名を超える方々にご参加いただき、盛大に『ひかり福祉会創立40周年記念式典』を開催することができました。

ひかり福祉会は、当初2ヶ所の事業所（ひかり園作業所、たんぽぽ作業所）でスタートしましたが、40年を経過した今では、日中支援事業所はじめ相談支援、生活支援と事業拡大していき、現在では22

の事業を経営・運営する法人となりました。

そうした中で迎える40周年では、ひかり福祉会の当初の思いであつた「どんなに障害が重くても働く社会」を実現していくために、この厳しい情勢下において障害のある人の労働をどう保障していくべきなのかを学び直そうと、記念講演では『日本でいちばん温かい会社』著者大山泰弘氏（日本理化学工業株式会社 会長）を招き、「障害者み



う」と話され、式典に参加いただいた方から、賛同の拍手がわき起きました。

式典では、記念講演以外に、これまで法人を支えてきてくださった方や団体、長きに渡り勤続された利用者や職員、計21名の方に功労表彰・勤続表彰を行いました。表彰された方は満面の笑みで喜びを表現されておられました。

午後からは、各事業所の利用者たちによるステージ企画で楽しみ、閉会式では、参加していただいた方全員で「未来へ」を大熱唱して式典を終えることが出来ました。

みんなが役に立つて働く皆働く社会の実現を」と題し、障害のある人を雇用してきた経過や一緒に働く障害のある人たちから学ばれた「働くこと」でいちばん大切なことはいったい何なのか」ということについてお話をいただきました。また「人間の究極の幸せは、①人に愛されること②人にほめられること③人の役にたつこと④人から必要とされることであり、働くことによって愛以外の3つの幸せは得ることができると思

40周年という大きな節目を越えた今、次は10年後の50年時に今よりもっと障害のある人や家族が安心して地域で暮らせる社会の実現に向か、法人としてもこれまで以上に地域に根ざした活動を行いたいと思います。今後ともご指導ご鞭撻のほど、よろしくお願いいたします。

特集

40周年記念式典 利用者企画

キーワードは
「未来」

ひかり福祉会創立40周年記念式典の利用者企画を担当させていただきました。「40周年をお祝いする」ということでまずテーマをどのようにするか考えました。振り返ることも大事ですが、これからまたスタートしていくということと捉え、キーワードを「未来」に設定しました。

オープニングではひかり福祉会「あいうえお」作文で開会宣言を行いました。各事業所に「ひ・か・り・ふ・く・し・か・い」と一文字ずつ担当していた午後からのメイン企画では事業所ごとに「未来」をテーマに発表していただきました。

それぞれ工夫をこらした歌やダンス、未来の自分への手紙をよむ、願いを込めた紙ヒロー

キを飛ばすなど普段の交流会での発表とは違うものになつたと思います。また、大きなステージを使った発表ができてよかったです。エンディングではキロロの「未来へ」を全員で歌いました。ステージに皆あがり賑やかなファイナーレになりました。

「めまぐるしく変わるものの中でも変わらないもの、変わらないといけないものがある。私達には願いがあります。この先10年、20年と続くなかまの願いをこめ、紡ぎながら。」

(40周年実行委員 I・K)





ひとりひとりが 主人公のステージ



午後は「未来」というテーマで、それぞれの事業所中心に仲間のみなさんによる発表がありました。合唱やダンスなど、それぞれに工夫が凝らされ、いきいきと発表されていました。

ひかり園・輝湖里の方は「みんなが知っている歌いやすく、元気になれるので、『負けないで』を選びました」と言つておられました。みんながポンポンを振つたり、大きな旗を振るところもありました。

友愛ハウス・ワークセンター紺の人たちも、大きな声でメロディーに乗つて歌つていました。セルフひこねでは、歩きながらノリノリで歌つたり、自分からマイクを取りに行く人もありました。

HEART WORK 結の人たちは「未来の私への手紙」を一人ひとり発表してくれまし

た。「旅行に行きたい」「たくさん仕事をして、もっと給料がほしい」「今より幸せな未来を」「(外国語の勉強など)挑戦したい」「自分のことを自分でやりたい」など、どれも切実な願いででした。

ひでの作業所では得意のキーボードを弾きながら歌つてくれた人もありました。

たんぽぽ作業所、工房ふれっしゅの人たちは手に手に紙飛行機を持ち「365日の紙飛行機」を歌い、最後に客席に向かつて色とりどりの紙飛行機を飛ばし、とてもきれいでした。

最後は全員でキロロの「未来へ」を歌いました。たくさんの人がステージに上がり、盛り上がりで幕を閉じました。

(参加理事 K・K)



40周年記念式典 受賞者

(敬称略 順不同)



ひかり福祉会40周年おめでとうございます。また、私達親子も祝つて頂きありがとうございます。息子がお世話になって40年、その後色々な出来事があり、特に施設競売事件は苦悩の連続でした。そうした見えない苦しい積み上げがあつたからこそ、今のひかり福祉会がある様に思います。仲間達が元気で通える「働く場がある」それが何よりも嬉しいです。

感謝状
丹部君尾勤続40年
丹部正道勤続20年
山瀬通範勤続20年
木村勝美

この度は、勤続20年表彰を頂きました。ありがとうございます。

この様に元気に勤めてこられたのは、仲間、職員、家族の皆様、地元地域、関係者の皆様の支えがあります。これからも微力ながら皆さんの思いに応えていけるよう、勤めていきたいと思っています。

勤続一〇〇年

高山彦光



勤続三〇〇年

丹部正道

勤続四〇〇年

大野木敬子

木村勝美

手原早苗

山瀬通範

功労者

(故)
古野廣文(故)
薮内栄美子(敬称略
順不同)

柿木博幸

小杉光史

丹部君尾

中尾廣司

中川道子

本庄洋一

山口千晶

ボランティアサークルほほえみ会

長浜ワイズメンズクラブ

湖北精神障害者家族会「いかの会」

米原市精神障害者家族会「あざみの会」

湖北メンタル友の会

湖水の会

就任あいさつ

専務理事

高橋 信二



柱の一つでした。

この度、歴史あるひかり福祉会に非常勤の専務理事に就任いたしました高橋です。

思い返せば、35年前になりますが1981年4月に長浜市神照町にありましたひかり園作業所に作業開拓指導員として就職、18年間、立岡理事長をはじめ現在でも法人の中核を担う第一線のスタッフと障害のある人たちと共に、就労を通して労働市場での社会的地位の向上にかけた実践や地域を巻き込んでの取り組みを進めて参りました。

その後、滋賀県内の作業所のネットワークによる事業の活性化を目指す(社団)滋賀県社会労事業振興センター(以下、「振興センター」という)が設立され、常務理事兼センター長に就任いたしました。振興センターでは、作業所の事業の活性化に加え企業就労への支援も活動の大きな

は時代の流れの中で大きく変化して参りました。振興センターでは時代を先取りした取り組みを展開してきましたが、そのベースになっていたのがひかり福祉会での18年の経験でした。

作業所の経済活動が地域の経済活動に組み込まれ、その活動を通じて、自らが希望する生活スタイルが実現できるように、微力ながら奮闘していきたいと存じます。



常務理事

川崎 昭仁



法人本部事務局長

橋本 昌則



5月に開催された理事会において、ひかり福祉会の常務理事に指名いただきました。ひかり福祉会は、利用者や家族、地域の方々に支えられ障害者福祉に取り組み、今年6月に法人創立40周年を迎えました。私自身の年齢も法人の歩みと同じ年であり、その歴史ある法人の要職に就任することになり身に余る思

いです。ひかり福祉会の経営理念にもあるように、利用者家族、職員だけでなく地域の方々の笑顔を大切にできる法人となるよう尽力していきたいと思います。

これまで通り利用者、家族、そして職員の笑顔を大切にできる法人であり続けたいと思います。もとより微力ではありますが、そうあり続けられるように尽力していきたいと思います。

2000年12月12日 第三種類郵便承認毎月(1・2・3・4・5・6・7・8の日)発行

ひかり福祉会及び事業所へのご寄付ありがとうございました【寄付金・物品等】

(平成27年10月1日～28年3月31日 敬称略 順不同)

寄付物品

奥村まゆみ	押谷 治郎	加藤 一貴	木村 浩	齊藤 佳伸	崎 幸一
柴田 欣則	柴田美和子	丞村 宏	谷利 啓子	高橋由美子	谷口 讓一
田中智比呂	丹部 正道	長澤 政弘	西浦 正和	疋田 弘	樋口 高年
廣部 真哉	藤井あゆみ	文室 宗実	前田真理子	松浦 浩枝	松田 直也
松宮 清治	丸野 哲司	三橋つた子	村西志津子	森本 史子	古野 孝弘
匿名					
(株)開成建設 (株)カーブスジャパンフードドライブ 関西ハム株式会社 (株)トップ・ワン					
滋賀県立甲良養護学校 滋賀県立長浜養護学校小学部保護者 生命保険協会滋賀県協会					
長浜市北郷里学区民生児童委員 成田山明王寺 彦根市亀山学区日赤奉仕団					
彦根市日赤奉仕団 ひばり観光株式会社 れんげはうす					

寄付金

海藤 恵子	川瀬 源信	白石 剛	富永 淑夫	西川 忠男	橋本 昌則
セルプひこね地域交流学習会 長浜市北郷里学区民生児童委員 彦根ロータリークラブ					
コーヒー＆軽食ポケット ひので作業所保護者会 ひかり福祉会後援会					

社会福祉法人 ひかり福祉会

編集後記

暦の上ではもう秋なのに、まだまだ暑い日が続きますね。体調には十分気を付けて下さい。

さて、皆さんはこの歌をご存知でしょうか。「逢うべき糸に出逢える事を人は幸せと呼びます」。中島みゆきの「糸」という歌ですが、人との巡り合いを重ねる事で人は幸せになって行くという意味があるそうです。仲間も職員も色々な人の出会いによって、そうなれると良いですね。

40周年記念式典も終わり、50年に向かってレールの上を既に走り出しています。最初の頃の想いや志を忘れず「ひかり福祉会号」に乗り遅れる事の無いように・・・。

◆就労移行支援・就労継続支援B型・生活介護◆

ひかり園 輝湖里 ひので作業所

友愛ハウス ワークセンター絆

たんぽぽ作業所 セルプひこね

HEART WORK 結 工房ふれっしゅ

彦華堂

◆グループホーム◆

長浜かざぐるまホーム 長浜里の家

米原蛍の家 ひこねたんぽぽホーム

ひこね芹川ホーム ひこねひまわりホーム

ひこね七里ホーム ひこねわたぼうしホーム

◆日中一時支援・短期入所◆

ひかり園 ひので作業所

◆相談支援・計画相談・就労支援・居宅支援◆

障害者支援センターそら

働き・暮らしコト一支援センター

相談支援センターあおい ヘルプもあ

■発行人：関西障害者定期刊行物協会 大阪市天王寺区真田山町2-2 東興ビル4F

■編集人：社会福祉法人 ひかり福祉会 長浜市鳥羽上町68-1

■定価：30円